

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-25℃ ~ +85℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	_____	_____	
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ6.2 ~ φ7	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	φ0.53 ± 0.003 の綱製ピンで測定する。	挿抜力 0.15 N 以上	○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿抜力 50 N 以下 (ロック機構を含む)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 55 ~ 10 Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで 3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波3軸両方各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ保持力	圧着結線された適合コネクタを組み込み後電線に引張荷重を加え測定する。	20 N 以上	○	—
	コネクタ破壊強度	コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	30N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90~95 %中に96 時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10~15 → 30 → 10 ~ 15 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	機能を損なうような、はなはだしい腐食がないこと。△	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐水圧性 △	適合コネクタをかん合した状態で水深1 mに 0.5 時間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
1	3	DIS-C-00003130	KN. IKEHARA	HY. KOBAYASHI	20190422
備考			承認	MO. SATOH	20060612
			検 図	EJ. KUNII	20060612
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)△			担 当	DS. MATSUNE	20060612
			製 図	MK. SATO	20060608
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-112152-71	
HRS	製品規格表		製品名	HR30-7P-10SC (71)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL130-0013-2-71	△ 1/1